



## 気持ちよい挨拶ができること

学校長 堀部 尚久

真夏の日差しが照り続けた猛暑の日々に、過去最速となった梅雨明け宣言が実感されます。早いもので今週末には7月を迎えることとなります。過日の授業参観では、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの学びの姿をご覧いただくことが叶いました。現在学校では、市教委の方針に基づき、感染症対策を行いつつ、熱中症対策を優先する指導を進めておりますが、授業を参観された皆様には、マスクの着用や密の回避等、これまでに引き続く感染症対策へのご協力に感謝いたします。

さて、一昨日27日(月)に、秋葉中学校区の学地協(学校家庭地域協働事業実行委員会)総会が、3年ぶりに対面で開催され、まちの子どもたちの健全育成に向けた取組に関わる事業計画の確認や、子どもたちの生活の様子に関する情報交換の機会がありました。いくつかの話題の一つに、「挨拶」のことが取り上げられ、川上のまちでは、小学生も中学生も上手に挨拶ができている子どもが少しずつ増えているというご意見が出されました。日頃から、本校の見守り隊の皆さんからも、「子どもたちから挨拶をされると、ちょっと恥ずかしいような気持ちもあるけれど、子どもたちの元気な挨拶から自分たちのほうが元気をもらっているようで、とっとうれしい気持ちでいられる。」ということもうかがっていました。同時に、「自分から挨拶ができている子どもはまだ多くはない。また、目が合っても挨拶しないで通り過ぎてしまう人もいるのが残念で、ちょっぴり寂しい気持ちにもなる。」ともおっしゃっていたことも思い出しました。子どもたちの登校時の様子に限らず、校内の廊下ですれ違うときの様子、まちなかで放課後子どもたちに会ったときの様子などを改めて思い起こすと、確かに、目を合わせて、気持ちのよい元気な挨拶をしてくれる人もたくさんいます。なかには、わざわざ立ち止まったり、近付いてきたりして、丁寧に頭を下げながら挨拶をしてくれる人もいます。それでも、よくよく思い起こしてみると、挨拶ができている人がたくさんいる一方では、目の前を黙って通り過ぎたり、すれ違ったりする人も確かに多いなと思えてきました。もちろん、登校時の短時間に、私自身も300人を超える全校の子どもたちに、目と目を合わせて挨拶をすることはできませんが、私も子どもたちの挨拶からたくさんの元気をもらっているのは確かです。

例年、「挨拶は仲間づくりの第一歩」という考えの下、年度初めとなる4月の朝会では、「挨拶」をテーマに話をしてきました。「教室の中で、友達や先生方との挨拶はしっかりとできていますか。」という投げ掛けをした後、気持ちのよい挨拶になる「あ・い・さ・つ」で始まるキーワードについて話します。「あ」:「明るく、相手の目を見て」ということ。「い」:「いつでもどこでも」ということ。「さ」:「先に云われる前に、自分から云う」ということ。「つ」:「続けて」ということ。つまり、「明るく元気よく、相手の目を見ながら、いつでも自分から先に、毎日挨拶ができる姿」が、気持ちよい挨拶の秘訣になるという話です。

挨拶は、人間関係や意思疎通における基本的な行為です。そして、本校が学校教育目標として掲げる「たがいに思いやり 自ら考え たくましく生きる 川上の子」に迫るための「自分づくり」「仲間づくり」の原点でもあると考えます。よい挨拶は、川上のまちの方が感じたように、嬉しい気持ちにさせてくれるとともに、相手に思いやりの気持ちを伝えてくれることにも繋がります。挨拶が大切だということは、誰にでも頭では理解できても、実際には、昨今の社会人の新人研修などにおいても取り上げられる基本的な生活習慣としてのマナーやモラルでもあります。社会人として当たり前でもある挨拶ですが、気恥ずかしさが先行したり、たまたま別なことに注意が向いていたりすると、タイミングを逸したりすることもありますが、本校の子どもたちに身に付けてほしい基本的な生活習慣だと思えます。

本校では、夏休みを前にした本日、児童会活動として、「川上小にあいさつを増やすために、どうすればよいか考えよう」という議題を立てて、学校生活における日々の挨拶の実態やあり方について、代表委員会で話し合う予定です。また、「挨拶ポスター」(挨拶標語・イラスト)の作成を通して、意識の高揚を図ります。これらの取組が話し合いやポスター作成に終わるのではなく、「川上小にあいさつを増やして、みんなが笑顔で、もっともっと安心して過ごせる学校にしたい」という子どもたちの思いや願いを実現する、実のある活動に繋がることを期待しています。川上のまち全体でこれからも大切にしたいという気持ちよい挨拶が、当たり前のこととして行なわれている学校になることを願ってやみません。ご家庭においても、生活習慣の一つとしての「挨拶の励行」を支えていただければ幸いです。